

# 第41号

令和7年11月15日発行

# ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会 / 編集 広報常任委員会



砂子炭鉱・三笠露天坑 合同視察研修（議会、商工会、建設協会）

奈井江町ホームページ (奈井江町議会)

<https://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/>



奈井江町議会 facebook

<https://www.facebook.com/naie.gikai>



奈井江町議会 Instagram

<https://www.instagram.com/naie.gikai/>



## 主な記事

ずどーん



町政 第3回定例会報告 ..... P2～P3

町政 ここを問う（一般質問） ..... P4～P7

令和6年度決算審査特別委員会報告 ..... P10

町内経済団体との合同視察研修 ..... P11

# 第3回定例会で審議された議案

第3回定例会は9月5日から9月12日まで開催され、令和6年度決算認定の他、報告案件、補正予算議案、条例一部改正議案、規約変更、人事案件、すべての議案を可決しました。  
その結果、令和7年度一般会計予算の歳入歳出総額は、57億6,185万6千円となりました。  
その他会議案1件・調査案件3件を可決し閉会しました。

傍聴者数5人

## 【議案審議結果】

報告	令和7年度に公表する健全化判断比率について 将来負担比率71.1% 早期健全化基準350%を大きく下回っている	報告済
	令和7年度に公表する資金不足比率について 病院事業会計 資金不足比率9.4% 経営健全化基準20%を下回っている	
	令和7年度奈井江町教育委員会事務事業の点検及び評価報告書について	
認定	令和6年度奈井江町一般会計歳入歳出決算の認定について 令和6年度奈井江町国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について 令和6年度奈井江町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 令和6年度奈井江町下水道事業会計歳入歳出決算の認定について 令和6年度奈井江町立国民健康保険病院事業会計歳入歳出決算の認定について	全会一致
補正予算	令和7年度奈井江町一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出に、7,815万5千円を追加し、補正後の総額は57億6,185万6千円 歳入 林業補助金6,625万円の増・障がい者自立支援847万9千円の増・他 歳出 児童福祉費462万円増・体育館施設費340万7千円の増・他	全会一致
条例等	奈井江町下水道条例の一部を改正する条例 災害その他非常時に、宅内配管等の早期復旧を図るために他の市町村長が指定した業者による排水設備工事を可能にするため、本条例の一部を改正	全会一致
	職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例 令和6年度の人事院の報告により「仕事と生活の両立支援の拡充」について、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い関係する条例の一部を改正	全会一致
	奈井江町営バス運行条例の一部を改正する条例 誰もが便利で使いやすい新たな仕組みを構築する「多世代共生型交通システム」の導入に伴い、町営バス「市街地循環線」及び「向ヶ丘線」の路線変更等のため、本条例の一部を改正	全会一致
	奈井江町議会議員及び奈井江町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 公職選挙法施行令の一部改正による選挙公営の単価の改定に伴い、奈井江町議会議員及び奈井江町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する単価を改定するために、本条例を改正	全会一致
規約の変更	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について	全会一致
	北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更について	
	北海道市町村総合事務組合理約の変更について 上記3件については、江差町・上ノ国町学校給食組合の脱退に伴い、北海道市町村職員退職手当組合理約表の変更するため	
人事	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 令和7年9月30日をもって任期満了となる三原 新氏の再任に同意	全会一致

# 決算審査特別委員会 令和6年度 5会計決算額

## 一般会計決算

歳入 60億1,570万4千円 前年度比 12.8%減  
 歳出 58億9,030万3千円 前年度比 12.7%減

## 特別会計決算

会計名	歳入	歳出	実質収支額
国民健康保険事業会計	1億8,787万5千円	1億8,722万4千円	651千円
	(13.7%減)	(11.2%減)	
後期高齢者医療特別会計	1億1,120万9千円	1億1,118万8千円	21千円
	(7.9%増)	(8.0%増)	

## 下水道事業会計決算

区 分	令和6年度	
収 入	収益の収入	4億0,909万7千円
	資本の収入	2,482万3千円
支 出	収益の支出	3億6,779万3千円
	資本の支出	2億3,955万5千円
収 支 差 額	収益の収支	4,130万4千円
	資本の収支	△2億1,473万2千円
	実質収支額	△412万9千円



## 国民健康保険病院事業会計決算

区 分	令和6年度	
収 入	収益の収入	8億5,984万7千円
	資本の収入	1億2,753万2千円
支 出	収益の支出	8億3,266万9千円
	資本の支出	1億5,293万3千円
収 支 差 額	収益の収支	2,717万8千円
	資本の収支	△2,540万1千円
	実質収支額	2,840万3千円





# 町政 ここを問う

9月定例会では4人の議員が**一般質問**を行いました。

地域交流センターの管理運営（道の駅）について

## 利用者に親しまれる管理運営を

町長 活性化に向け研究をしていく



遠藤 共子

遠藤

①事業計画の検証結果について

②現在の状況が2階も含め今後も継続されていくのか

③指定管理者制度における利点を活かした運営について

④町が管理運営を行うことについて町長の考え方は

町長

①公募時に提出された管理業務・自主事業の計画について、毎年度指定管理者選定委員会において、

利用状況や収支の状況、計画の実施状況などについて評価と課題整理を行っており、これまでおおむね適正な管理が行われている。各種報告等において業務の改善が必要と判断した場合は、町と指定管理者が協議の上、改善を求めることとなっている。

②伝承室については、防災道の駅に選定されたことに伴い、防災に関するパネルやサイネージを設置し、周知・啓発等のスペースとして活用している。昨年まで行っていた地場産品の販売については、商品の管理や選定、販売員の配置等の体制に課題が生じていたことから、現在販売を停止している。

また、2階の学習室に

は、キッズスペースと町内企業から寄贈を受けた古民家を配置し、無料休憩所として使用しており、イベントの際にはワークショップなどの会場として活用している。

道の駅における地場産品の取扱いについては、指定管理公募時における施設の管理運営基準（要求水準書）に明記されている項目であり、町と指定管理者双方が課題と認識しており、現在より効率的な販売方法等について、指定管理者において検討を行っている。

③平成17年度より指定管理者制度を導入しているが、近年開設した道の駅は、施設の大規模化・商業化が進められており、制度当初に開設した本町の道の駅は、施設の規模

や構造など限られた環境のなか、多様化する利用者のニーズに 대응するため、運営に努めているが今後、民間団体のノウハウや企画・アイデアを生かした施設運営を期待している。引き続き、町と指定管理者が連携し、道の駅の活性化に向け取り組んで行く。

④国が求める道の駅としての機能に加えて、時代とともに変化し、求められる様々なニーズに対して、町民や関係団体などと共通の理解と認識、そして協働の下で、利用者の目線に立った地域の活性化につながる施設として運営されることが必要であると考えている。将来的な管理運営方法も含めて、道の駅の活性化に向けて研究していく。

## 町の経済状況等について



篠田茂美

篠田

① 猛暑と不安定な世界情勢の影響、円安、賃金上昇等、複数の要因による原材料費等の上昇が生じている状況下において

② 誘致企業を含め町内企業

### 火力発電所跡地利用

北電の基本スタンス

- ・町に貢献できることを第一
- ・北電事業との親和性
- ・事業の持続性を踏まえて検討する



4/25 包括連携協定を締結

- ・脱炭素に関する取組み
- ・跡地利用の検討相互に連携し、進める確認



② の現況について

経済団体からの要請書の対応について

議会：7月17日 懇談会を実施（情報交換）

町長

①

担当課が、企業の訪問等で、定期的に業績等の課題、状況を伺っている。

経営状況は、物価、人件費の高騰等もあり、横ばい

や下がり傾向とお聞きするが、共通して言えることは、人材の確保が非常に厳しいとのこと。

② 国の地方創生臨時交付金を活用して、物価高騰対策とし、企業に支援金の給付や、プレミアム商品券の発行等の支援事業を実施している。

② 経済団体から、発電所の廃止に伴う地域経済への影響に対する町の対応について、混焼炉発電所の設置、石炭の有効活用等、4項目にわたる要請を受けたところであります。

発電所の廃止によって、町内の採炭事業者をはじめ、運搬など納炭に関わる関連企業の雇用、経営に与える影響は大きいと十分認識をしている。

これらの要請内容に対して、北海道電力に対して口頭でお伝えした。

◎跡地利用の検討

- ・実現可能な事業展開
- ・北電として、新たな事業に対する収益性、継続性

等、社会的に責任のある事業展開が必要

北電が主体となった検討が行われるべきであると考える。

篠田

まちづくりの原則として、情報の共有、町民参加を掲げ、町民と共にまちづくりを進めています。今回の北電の廃止は町の経済に大きな影響がある事案であり、経済団体から出された要請書については、北電

町長

だけでなく町全体のことを考えての要請でもありません。協議する場を設けるべきでは。

北電のことに関して私の考え方をこれまで説明しており、納炭業者の皆さんからの意見も私なりに聞かせていただいている。

今、このことに関しては、そういう意味での懇談会を開催する考えは持っておりません。

## 脱炭素の取組みについて

篠田

官民一体となって地球温暖化対策を進める為に、企業・個人も国の補助金等を活用していく方策の検討は

町長

企業等が新たな取組みを始める場合に、国の支援が受けられるようにしておくことは重要で、十分整理をして検討して行く。

# 鳥獣害対策の

## 現状について



根岸 一志

鳥獣被害対策実施隊発足から一年経過して現状は

### 根岸

熊の痕跡や目撃への対応は

### 町長

8月末時点で、目撃2件、痕跡2件。職員・警察・実施隊で現地確認。周辺地域のパトロールを実施。HPやLINE、連合区長はじめ、企業や学校などにも周知。のぼりや看板などの設置、戸別訪問やチラシの配布、広報車による周知を実施。

### 根岸

猟友会との関係性について

### 町長

猟友会は人員不足で参加辞退。有害鳥獣駆除協力会と連携。狩猟者不足は全国課題で国や道が主体的に進めるべき。現体制で対策しつつ、将来の体制は検討。

### 根岸

鳥獣被害対策実施隊の活動状況について

### 町長

職員5名＋協働会推薦14名の計19名。  
8月末までに97日間、延べ212人が活動。熊3頭を捕獲。

# 自治体情報発信アプリの導入を

生活情報、観光イベント情報、商業情報、空家空地マップ、防災通知、登下校管理、福祉情報など、町内外の方も活用できる総合的な情報発信アプリを検討は。

### 根岸

公式LINEやSNSのユーザー数と利用状況は

### 根岸再質問

「緊急統括」が可能になったが、判断基準や訓練計画は

### 町長

道全体でも方向性が定まっておらず、実行体制が整っていない。知事も明確な指針を出していない状況。まずは啓発と広報を徹底。警察とも連携し、情報伝達体制を優先。訓練の実効性にも疑問あり、勉強会や情報共有を進める。

### 町長

LINE..1251人、Facebook..671人、X..451人。イベント、防災、ヒグマ情報などを発信。登録者増加へ向け、カード配布、ポスター、QRコード掲載などを実施中。

### ●導入済みアプリ

LINE公式アカウント (KANAMEETO利用) 教委・teturu (欠席連絡・学校情報)

### ●導入予定アプリ

防災アプリ スピーキャン・ライデンと連動(防災情報一斉配信)

### 根岸

自治体アプリの導入の検討について

### 町長

東川町のような成功事例はあるが、美唄市は市公式アプリを廃止しLINE強化に移行。

利便性は高いが、システム改修・運用費用が高額になる懸念。通知過多によるブロックも課題。総合型にこだわらず、既存ツール強化も含めて最適な形を検討したい。

### Ａーまとめ

○奈井江町は「防災アプリ」を新規導入予定で、まずは災害情報伝達を重視。

○総合型アプリは慎重姿勢。費用・利便性・ブロックリスクを踏まえ、既存LINEの機能強化との比較で検討。

○議員側は利便性＋地域経済循環の提案を行い、町民意見を取り入れる必要性を訴えた。

○町長は「適材適所で安価に効果的なツールを使う」という立場を示した。





## 高齢者の

## 肺炎予防について

町長 健康寿命の延伸は非常に大切と考える



笹木利津子

### 笹木

①肺炎死亡数、肺炎死順位の推移と今後の見込みは

### 町長

平成25年から27年は死亡数8人から10人で死因順位4位。28年29年は5人で順位は5位。今後の見込みは高齢化が進むことから、一定の死亡は続くと思込まれる。

### 笹木

②高齢者への肺炎球菌、インフルエンザ、コロナワクチンの公費助成の内容と接種状況は

そもそもワクチンの働きってなに？

感染予防や重症化予防で自身の健康、友人知人を守ることが出来ます。

重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが出来ます。

### 町長

肺炎球菌5千円、インフルエンザ千六百円、コロナ1万三百円。生保世帯は全額助成。接種状況は肺炎球菌

菌25・6%インフルエンザ49%コロナ19%となっている。

### 笹木

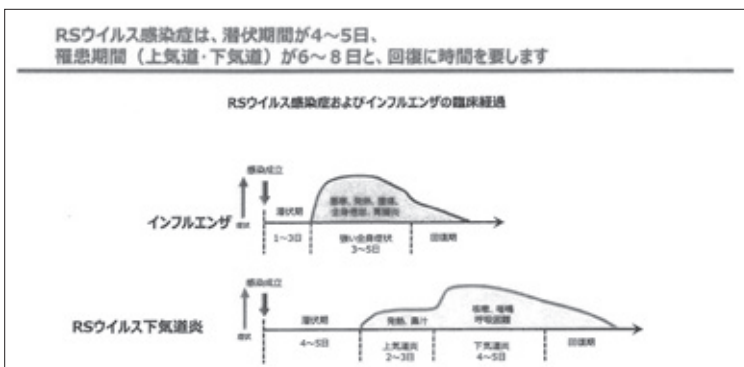
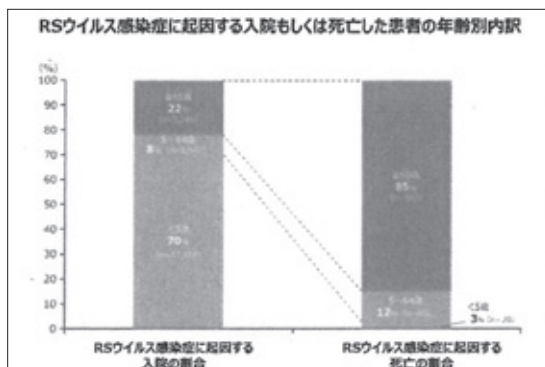
③感染症疾患の周知、予防への注意喚起は

### 町長

例年、感染症が蔓延する前に予防接種の案内と共に、疾病や予防方法などの注意喚起を行っている。RSウイルス感染症については疾患名についての認識が少ないことから、注意喚起を強化して参りたい。

### 笹木

④RSウイルスワクチンは開発優先度が高いワクチン。高齢者の肺炎死を予防していく観点から、公費助成を検討しては



### 町長

疾病の蔓延状況、重症化に関するデータが不足しているなど、RSウイルスの定期接種化を検討するうえで必要な情報収集を行うべく、町としても全体の予算を鑑み子育て支援等ベーシスの所を押さえ、予算措置を考えて参りたい。

### RSウイルス感染症？

風邪症状が続くが検査をしてもインフルでもコロナでもない。

肺炎を引き起こすウイルス感染症だがまだ治療法がない。基礎疾患がある方は重症化し肺炎のリスクが高まる。



令和6年度

決算審査特別委員会

# 質疑あれこれ

## 主な Q & A

### 一般旅費

問 不用額の出た理由は

答 企画財政課主幹

出張とオンライン開催の選別をかなり進めた事が、経費の節減につながり不用額が出た。

### 定住対策

問 不用額が出た理由は

答 企画財政課課長

新築住宅の建築費の高騰

答 企画財政課主幹

定住対策については毎年12月に補正を行っていて、令和6年は中古住宅22件が、18件、アパート助成30件の見込みが26件、住宅リフォーム助成32件が25件となったため。

問 今後の見通しは

答 企画財政課課長

予算や抽選方法も含めて、新年度に向けて協議する。

問 リフォーム助成の方向性は

答 企画財政課課長

があり、中古住宅の需要が高まると予想。しかし、町内の空き家に対応し得るか見極める必要がある。

### 新型コロナウイルス助成金

問 前年にはなかった、新型コロナウイルス定期接種

ワクチン確保事業に対する助成金の内容は

答 企画財政課主幹

令和6年度に実施したワクチン接種の関連の各病院に交付される委託料の財源。内訳は、1人当たり8,300円で接種された人数380人、財源として約315万円。

### イベント情報

問 以前よりイベントが増えて、広告やチラシが増加しているが何か対策は

答 企画財政課課長

庁舎内部で新たな町内会組織の在り方を検討している段階だが、広報の配布方法については意見が割れている。今後アンケートや町民議論を進めて決定したい。

### こんな事業やりました

- 奈井江版生涯活躍のまちに要する経費  
1億5,850万円(1,433万円増)
- ふるさと応援寄付金事業に要する経費  
5,500万円 (1,527万円増)
- 定住促進対策事業に要する経費  
5,802万円 (2,098万円増)
- 庁舎整備等に要する経費  
5億7,414万円(10億3,227万円減)
- 国際交流に要する経費  
335万円 (185万円増)
- 障がい者支援に要する経費  
2億9,898万円 (3,056万円増)
- 低所得者支援及び定額減税補足給付金に要する経費  
4,585万円 (2,745万円増)
- 障がい児通所支援に要する経費  
4,082万円 (1,131万円増)
- 学校給食に要する経費  
2,997万円 (808万円増)
- 除排雪に要する経費  
1億8,380万円 (4,541万円減)
- 道営土地改良事業に要する経費  
6,156万円 (1,993万円増)
- 病院事業会計繰出金  
3億7,824万円 (58万円増)

※ ( ) 内数字は前年度比較



## あそViva

**問** 利用者数と経費は

**答** 保健福祉課参事

北町児童館が10月で閉館し、11月5日から旧保健センター2階に移ったが、当初月100名程度だったが、現在月200名の利用がある。経費は、役場分庁舎の位置付けのため消耗品費程度。

## 企業誘致

**問** 取り組みの現状は

**答** 産業観光課参事

企業誘致の必要性は大いに感じており、協議もしているが、非常に難しい問題。道が窓口になっていることが多く、紹介は来るものの誘致には結びついていない。

## 空知団地

**問** 売買になったGV S J 11合同会社の詳細

**答** 産業観光課係長

世界各国で太陽光や風力発電、蓄電池事業を行って、いる外資系のグループ企業、グリーンボルトグループの子会社の特別目的会社。今の所、令和8年度に太陽光パネルを設置予定。

## 地域おこし協力隊

**問** 契約の任期は

**答** 教育委員会事務局長

会計年度任用職員という形での任用なので、年度で一旦切って最長3年の任用期間。

**問** 部活動の地域移行

**答** 教育委員会事務局長

6年度は1回の検討会議だったが、今年度はすでに4回開催し、教育委員会にも報告済。国も令和8年から3年間で取り組みとの事なので、しっかり対応する。

## 町立国保病院

**問** 病床削減することで国の補助制度がある

**答** 事務局長

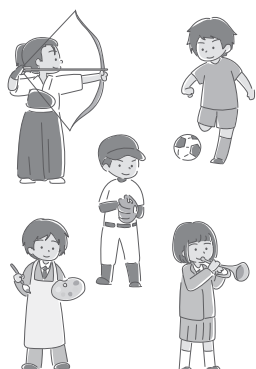
現在は削減より維持が必要と考える。現状、満床であったり、地域の受け皿として必要と考えるため、病床削減の予定はない。



旧保健センター



空知工業団地



# 決算審査特別委員会審査結果報告

第3回定例会では令和6年度の予算に基づいて執行した事業の結果について決算審査特別委員会を設置し審査を行いその結果を町に報告をいたしました。

(結果報告内容抜粋)

## 1 定住対策について

住宅取得助成や賃貸住宅の家賃助成等、子育て世代を中心に本町へ転入いただいていることは大変喜ばしいことです。引き続き定住支援のPRを積極的行っていただくとともに、空き家の利活用についても検討いただきたい。今後も、評価・検証を行うとともに移住された方の声も参考とし、より良いまちづくりに反映されることを期待する。

## 2 鳥獣対策について

近年ヒグマの目撃情報が本町や隣接する市町で増加傾向にある。人的被害や農作物被害を未然に防止するため、関係機関との協力によるパトロールの実施や注意喚起、町民への情報提供に努めていただきたい。



## 3 企業誘致について

空地団地をはじめ、町内への新たな産業の創出や進出に向けて、北海道や美唄市等と連携を図り、立地に地に向けたPRや情報の収集等誘致活動に努めていただきたい。

## 4 公設塾について

「ななかま」では、学習だけではなくあらゆる取り組みにより、子ども達に学習意欲を持たせる工夫をし、いきいきと楽しく学んでいること、そして基礎学習の定着につながっていることは大変喜ばしく感じている。引き続き、子ども達が学習に集中できるように環境の整備に努めていただきたい。

## 5 下水道事業について

町民の恒久的財産である下水道事業を適正に維持するために、より一層の経営の効率化・健全化に努めていただきたい。

## 6 町立国保病院について

人口減少・高齢化による患者数の減少などにより、地域医療を取り巻く環境が依然として厳しい経営状況にある。

引き続き地元医歯会、近隣公立病院との連携を推進し、安心な医療の提供に努めていただきたい。



# 町内経済団体との砂子炭鉱三笠露天坑視察

奈井江・砂川火力発電所の廃炉に伴い、露頭炭採炭事業の撤退が決定された**砂子炭鉱三笠露天坑**を、町内の経済団体の皆様とともに視察しました。現地では、坑内の現状や、安全管理、ドローンを用いた3Dモデルや石炭層モデルなどのICT技術、今後の計画についても説明を受け、長年地域経済を支えてきた石炭産業の終焉と、その跡地利用の課題を改めて実感しました。また、同坑内で進められている**露頭炭層を活用した地下ガス化によるブルー水素製造事業**についても説明を受け、脱炭素社会に向けた新たな可能性を感じました。

エネルギー転換の時代を迎える中で、地域がこれまで培ってきた技術や知見をどのように次世代の産業へつなげていくかが問われています。

今回の視察を通じ、奈井江町としても、周辺自治体や経済団体との連携を深め、「地域資源の再活用と新産業創出」という視点から、持続可能な地域づくりを進めていく必要性を強く感じました。



## 町長への要請

令和7年10月17日

町内経済団体との懇談会において出された意見・要望等を踏まえ、全員協議会にて議論を重ね、北海道電力株式会社に対し、今後とも地域振興となる事業の検討の要請を続けていただく・事業化の際は地元企業が参入出来るよう努めていただく・可能な限りでの速やかな情報提供を求める等、議会として意思決定をした「要請書」を町長に提出しました。



# まちづくり 常任委員会 所管事務 調査報告

公園の維持管理について  
(現地調査を含む)

なかよし公園を

守る会(本町5区)は

奈井江町環境美化

ボランティア推進事業

に取り組んで10年目。

※行政と民間の協働

**問** 遊器具の点検及び点検時期について

**答** 町内にある全76カ所を点検している。来年度以降は出来るだけ早期の対応をする。

## 【委員会からの意見要望】

利用者が安心・安全に利用できるよう、多くの住民の参加を募りながら計画的な管理・修繕に努めていただきたい。



**問** サンポパークのゴミの不法投棄について

**答** 定期的に周辺を確認している。今後見回り回数を増やして対応して行く。

**問** 白樺公園のトイレ設置について

**答** 近隣に利用可能なトイレがあることや、費用や防犯面を考慮して設置しない。

**問** 公園の美化や維持管理について

**答** 経費や労力を考えると(なかよし公園を守る会)のような取組みが広がり、住民の協力を得ながら行いたい。今後とも広報誌などを通じて呼びかけて行きたい。

生涯活躍のまちの取り組みについて

共奏ネットと連携のもと

町が抱える諸課題に取り組んでいる。

**問** 地域公共交通バスの購入と運行、バスのデザインについて

**答** 新車を2台購入し8月に納車。住民のニーズに合わせた路線に変更し10月から開始する。車両には(ずどーん)をモチーフにしたデザインを考えている。

**問** 学校給食の米飯事業について

**答** 民間事業者の廃業に伴い共奏ネットが事業を引き継いだ。しごとコンビニも活用しながら事業を進めている。

**問** 今後のまちづくり音楽のコンサートの方針と収益性について

**答** 入場料金が上がっても著名人を呼び集客率を高めたい。収益は工夫して上げる努力をする。

**問** 今後の事業の取捨選択と、事業の実施主体について

## 【委員会からの意見要望】

地域再生計画に掲げた事業を着実に推進し、目標とする将来展望を実現可能な事業展開を望みます。



**答** 現時点では共奏ネットで既存事業を継続していきたい。

**問** 事業の透明性を高めるために共奏ネットの監査の必要性について

**答** 透明性を高める事は大切。今後は監査を含め方法を検討して行く。

町税の賦課徴収状況と財政状況について

**町税は前年と比べ、個人町民税は5800万円の増加、財政調整基金は8541万増の7億224万円**

**問** 個人町民税の増額について

**答** 人事院勧告による公務員の昇給や農業者の所得増、定額減税の影響により増額した。

**問** コンビニやスマホでの支払いの手数料について

**答** 税抜きで61円です。

**問** 基金に対しての考え方に

**答** 必要な投資事業や町民への福利厚生を適切に行いながら精査をしていきたい。

**問** 過疎債の活用について

**答** ハード事業については充当率100%、ソフト事業について昨年度は69.2%でした。



〔委員会からの意見要望〕

賦課状況については、公平性を保ち徴収率の向上に努めて頂きたい。

財政状況については、健全化の兆しが見える一方公債費の増加や病院経営健全化の課題もある。引き続き健全財政の堅持に努めて頂きたい。

## ようこそ奈井江町へ

定住・移住政策の成果により奈井江町へ移住する方が増えています。

今回は、千田さんです。

はじめまして。

2025年4月より「ないえ共奏ネットワーク」で勤務している千田と申します。

現在は、ふるさと納税業務とゲストハウス「泊まれる音楽室」を担当しております。

出身は札幌で学生時代を過ごしました。就職後は地域おこし協力隊として観光協会に勤務し、イベント運営や園地での花と鉄道模型を組み合わせた外での展示、レンタサイクル事業などに携わっております。その後、層雲峡や北湯沢のホテルで予約業務を担当し、観光や宿泊に関する経験を積んでまいりました。

奈井江町とのご縁は、以前の職場の上司から声をかけていただいたことがきっかけです。ちょうど新たな挑戦を考えていた時期に、奈井江町の「ずどーん」というキャッチフレーズに町のまつりや想いが伝わり、強く惹かれました。ふるさと納税を通して、奈井江町の美味しいお米や特産品を全国へ届けたいという思いから、移住を決意いたしました。

食べることと温泉が大好きで、奈井江町や近隣の飲食店・温泉にはこの半年でほとんど足を運びました。もし町内外でおすめのスポットがありましたら、ぜひ教えていただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いたします。



千田さん



フィンランド・  
ハウスヤルビ町  
訪問回歓迎  
セレモニー

ハウスヤルビ町から訪  
問団が来庁されました。  
10月6日には議会と訪  
問団の方々と意見交換会  
が行われました。



意見交換会の様子



議会歓迎セレモニーの様子



## 第4回定例会（予定）

■日程 12月10日（水）  
～12月12日（金）

■場所 役場2階 議場

どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

お問い合わせは議会事務局まで



65-2166

gikai@town.naie.lg.jp



10月17日、議会懇談会を開  
催し31名の参加がありました。  
詳細については次号で報告  
いたします。

## 第9回議会懇談会

## 委員会報告

### 議会運営委員会報告

9月1日  
・第3回定例会の議会  
運営について

### 広報常任委員会報告

議会だより40号（8  
月15日発行）  
編集のため4回の委  
員会を開催

### 全員協議会報告

7月23日  
・経済団体との議会懇  
談会について

8月29日  
・第3回定例会の議案  
説明について

9月5日  
・第3回定例会の議会  
運営について  
・決算審査特別委員会  
について

9月12日  
・議会懇談会について  
・一部事務組合の議会  
報告について

## 編集後記

いよいよ朝夕がぐっと  
冷え込むようになり、冬  
の訪れをだんだん感じる  
ようになってきました。

「もう一枚上着を持って  
くればよかった」と外出  
先で後悔する日々が増え  
てきました。

皆様方におかれまして  
もどうか体調を崩されま  
せんよう暖かくしてお過  
ごしく下さい。

議会だよりが、日々の  
暮らしの中で少しでも身  
近に感じていただけるよ  
うになれば幸いです。

町民皆様のご意見・ご  
感想をお寄せください。

（星）



## 発行 奈井江町議会 編集 広報常任委員会

委員長 遠藤 共子  
副委員長 根岸 一志  
委員 笹木利津子  
星 厚早